

令和８年度 第１回 湖南広域休日急病診療所運営委員会議事録		
日 時	令和８年８月７日（金） 14時00分～14時40分	
会 場	湖南広域行政組合総合庁舎 3階 市民防災ホール	
出席者	委 員	草津栗東医師会 新木委員、守山野洲医師会 松川委員、守山野洲医師会 澤田委員、びわこ薬剤師会 大井委員、守山野洲薬剤師会 間下委員、滋賀医科大学 塚村委員、済生会滋賀県病院 平泉委員、淡海医療センター 藤井委員、済生会守山市民病院 野々村委員、近江草津徳洲会病院 鈴木委員、県立総合病院 野澤委員、草津保健所 嶋村委員、湖南広域消防局 福山委員、守山市民代表 田中委員、栗東市民代表 太田委員
	事務局	草津市 新庄課長補佐（課長代理）、守山市 小井課長、栗東市 西川課長、野洲市 高田課長、湖南広域行政組合 木村総務部長、救急医療事務局 高橋事務局長、山本副参事、西出主査、加藤主任
会 議 資 料		別添のとおり

1. 開 会

事務局長進行

運営委員会規則第４条第２項の規定に基づき、半数以上の委員の出席により会議の成立を報告

2. 委員長挨拶

皆さんこんにちは。本日は会議にご出席いただきありがとうございます。

昨年は８月ぐらいいなってくるとコロナの患者さんが増えている感じだったのですが、今年度は現在のところあまり増えてきているという感じではなくて、少し状況が変わってきているのかなという感じも致します。また、繁忙期の年末年始にかけては、どういう体制を作るかとかもありますし、昨年は年末年始よりも早くインフルエンザの流行が始まったりしましたので、中々先が見通せないのもありますが、本日は皆様方からご意見いただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

3. 委員の交代について

事務局から交代された委員を紹介

4. 議 事

運営委員会規則第４条第１項の規定により、委員長が議長として議事進行

協議・報告事項（１）令和７年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について

○委員長

本日の運営委員会の円滑な議事進行につきまして、委員の皆様方のご協力をよろしくお願い致します。なお、当委員会で発言された内容は、発言者や個人情報を除きまして、後日、組合のホームページに概要が掲出されますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。

協議・報告事項（１）令和７年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

令和7年度湖南広域休日急病診療所の診療実績について、資料2ページから4ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございました。ただ今、事務局から説明がございましたが、委員の皆様からご質問、ご意見がございますでしょうか。

診療の状況としては令和6年と令和7年の比較でいきますと、令和7年のインフルエンザの流行が前倒しになりましたので、11月辺りに結構多く受診される方が出て、その影響だと思いますが、年末年始の受診者数の方が寧ろ減少するというような感じになっていたと思います。今年度の年末年始についてはどうなるか分かりませんが、可能性としては令和6年度のような感じになるのかなというような気がしています。

委員の皆様、何かございますか。

○A委員

質問になりますが、この時節、熱中症ということで、新聞等で報道されていますが、この統計資料の中で、熱中症で診察を受けている方の数は計上されていますか？

○事務局

熱中症発生件数の統計は取っていますが、この統計資料には熱中症の件数は掲載していません。ただし、熱中症で体温が37.5度以上あれば、発熱患者数には含まれています。参考としましては、今年度は8月2日の診療日現在で9人の熱中症患者が発生しています。

○委員長

以前に問題なっていました湖南省からの患者の流入がありましたが、この辺りについては、最近の統計を見ていると少し減少しているような感じになっているように思います。以前は野洲市の患者数よりも湖南省からの患者数の方が多いということもありましたが、そのことについては改善されてきているように思います。おそらく甲賀圏域の方でも関係者の方が頑張っておられるのではないかなというふうに感じています。

○B委員

受診者数と発熱外来患者数とは違うと思いますが、受診者の中には発熱だけではなく様々な症状で受診されると思いますが、この統計では発熱者は別に計上されているのですか。

○事務局

総受診者数の中で、体温が37.5度以上ある方を発熱外来受診者数として計上しています。この統計資料で言いますと、総受診者数5,114人中、37.5度以上の発熱が診られる方が3,132人となっています。

協議・報告事項（2）令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および協議・報告事項（3）令和8年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算について

○委員長

それでは、協議・報告事項（2）令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および協議・報告事項（3）令和8年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算については、関連することから事務局から一括して説明をお願いします。

○事務局

令和7年度湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出決算および令和8年度

湖南広域休日急病診療所特別会計歳入歳出予算について、資料 5 ページから 6 ページに基づき説明。

○委員長

ただ今事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問、ご意見はございますでしょうか。

受診される患者数は減っていますが、予算上は何とかなっている状況ということでしょうか。受診される患者数は減っても、診療日である休日の日数は変わりませんので、結局、基本的には掛かる費用というのは変わらないということと、あとは医薬材料費等が物価上昇の加減で上ってきていますので、その辺りも今後考慮していかないといけないというところになるのかなと思います。

何かご質問等ございませんでしょうか。

○A委員

5 ページの資料ですが、標題が予算書になっています。決算書に訂正願います。

○事務局

訂正させていただきます。

(事務局：訂正後の会議資料を掲示しています。)

○委員長

他に何かご質問等ございませんでしょうか。

大丈夫でしょうか。よろしいでしょうか。

協議・報告事項（４）令和 8 年度湖南広域休日急病診療所の診療体制について

○委員長

それでは続きまして協議・報告事項（４）令和 8 年度湖南広域休日急病診療所年末年始の診療体制について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

令和 8 年度湖南広域休日急病診療所の診療体制について、資料 7 ページに基づき説明。

○委員長

ただ今事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問、ご意見はございますでしょうか。

（１）のオンコールについては、殆ど呼ばれることが無くなっているということから、体制を止めましょうということ、（２）の年末年始受付時間の 30 分前倒しに関しては、患者が受付をされてから受診に至るまでの事務処理の時間がありますので、それに係る時間を 30 分前倒して、医師の診察が 10 時からスタートできるようにしようとするものです。（３）につきましては、小児科はオンコールにせず、令和 7 年度と同じ年末年始診療体制を維持するものです。

特にご意見等ございませんでしょうか。

協議・報告事項（５）令和 8 年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について

○委員長

それでは続きまして、協議・報告事項（５）令和 8 年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について事務局から説明をお願いします。

○事務局

令和 8 年度湖南広域休日急病診療所の診療状況について、資料 8 ページから 9 ページに基づき説明。

○委員長

ありがとうございました。ただ今の説明で、ご質問、ご意見がありますでしょうか。

昨年度と今年度、7月時点までの状況比較ですが、全体的に受診される患者の数が少し減っている状況となっています。事務局の調べでは、県内のどこの診療所も減っているような流れがあるらしく、特にこの地域が減ってきているということではなさそうな感じのようです。

何かご意見等はございませんでしょうか。

そうしましたら、協議・報告事項はこれで終了ということになります。

その他（１）受診予約について

○委員長

続きまして、その他の事項になります。（１）受診予約について、事務局から説明願います。

○事務局

受診予約について、資料10ページに基づき説明。

○委員長

今回新たな受診予約の話になってくるとはと思いますが、今の説明に関して何かご質問ご意見はございませんでしょうか。

患者さんの待ち時間の問題と、休日急病診療所の施設内で待っていただく場所があまりないこと、また繁忙期は殆ど発熱患者さんになりますので、非発熱の患者さんと一緒に待っていただくわけにはいかないなど、そういった事情から、ネットで受付をして、患者さんは自宅で待っていただくというほうがいいのではないかという部分もあり、そういった形での導入する意味合いもあります。

○Ｃ委員

2点聞かせて下さい。1点目は前回の会議の時にはおそらく8月前後からの開始の見込みですとのお話であったと思いますが、現在段階ではまだ開始されておらず、今後開始の実質的な日程は、今のところ未定ということでしょうか。

○事務局

前回の資料の書き方的には、内部で試行という形で書かせていただきました。実際始めるにあたって事務局内部での精査も必要でございますし、予約受付を開始するなら、広報等もしますので、期限をきっちり決めて実施していきたいと思っています。今回の会議資料のとおり12月前から開始させていただこうと考えています。また12月前からの開始に向けて現在システムの方の構築をしています。

○Ｃ委員

2点目になります。先ほど令和8年度の年末年始に関しては受付時間を実質30分前倒しにするというお話であったと思いますが、これに関してはオンライン受付時間も30分前倒しということになるのでしょうか。

○事務局

オンライン受付の開始については、一応12月前の通常期からの開始になりますので、一度調整をしてから必要があれば前倒し等の時間調整をしたいと考えています。

○Ｃ委員

現時点では確定していないということでしょうか。よくわかりました。

○事務局

そのとおりです。

○委員長

今のところ始めていない段階ですが、始めてみたら不具合が出てきたりするだろうと思いますので、その対応については試行錯誤でやっていくことになるうかと思います。

この件に関しましては、市民代表の方にもご意見をお伺いしたいと思います。

○D委員

待ち時間というか、待合場所も広くとっていないような気もしていますし、車の中で待っているのも大変だろうと思います。現在は診察待合室に何番の方が受診中という表示はされているとは思いますが、受診予約については受診者の利便性を考えますと最初は難しいというか、動き出すまでは大変だとは思いますが、そういったシステムを整備していただくと大変助かるかなと思います。

○A委員

皆様のご協力無くしては運営できない施設ですので、引き続き温かいご支援をお願いしたいと思います。

予約システムの関係ですが、やはりご高齢の方もおられますので、案内される場合、分かりやすく手続きが出来るような手法でお願いしたいと思います。

○委員長

もちろん全てを予約にするということはございません。中々予約ができないというご高齢の方もおられると思いますので、そこは従来どおりの来院受付で受診可能になるような形でやっていくということも進めていきたいと思えます。また、予約という形にしますと、おそらく予約枠を決めるので「予約枠がいっぱいです」という状況になることもあると思えますが、予約枠いっぱいだからといって、もう診察できませんという話にはなりませんので、そういったところも分かりやすく周知させていただければと思えます。予約枠がいっぱいになった場合でも、直接電話して受診可能か確認していただければ受診できますので、そういったところで勘違いが起きないようにしていただければと思っています。最近ばかりとネットで受付されている医院さんの場合、本当に予約枠いっぱいになったら受付終了、診察ができませんという診療所もございますが、決して休日急病診療所はそういった形ではないということで運営したいと思っていますのでよろしくお願いします。

他何かご意見ございますでしょうか。

○B委員

委員長が最初お話しされたようにコロナ患者がちょっと増えてきて今かなり広がってきています。今はいいのですが、確か年末年始になりますとコロナの検査もされると伺っていますが、その時に現在ゾコーバとかラゲブリオなど高額な処方が出る可能性があるのですが、その辺はどのようにされるのでしょうか。

○委員長

今の時点では、休日急病診療所には備えていませんので出せないということになりますが、その辺りは薬品審査委員会で検討したいと思います。

○B委員

今結論はいいのですが、内服する場合は早期に飲まなければならない薬剤がありますので、年末年始あまり数日たってからという訳にはいかない、その辺は薬品審査委員会でご検討いただければと思えます。

○E委員

私の見方としましては、重症化しやすいハイリスク患者の受診というのは比較的少ないのかなと思っています。若い方が多い感じがしています。

○委員長

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、「その他」の「その他」について、何か事務局からご意見を申し上げますでしょうか。

その他（２）その他

○事務局

特に事務局からはございません。

○F 委員

全体を通してとなりますが、私自身統計を見る機会が多いのですが、見やすい資料作成ということで、例えば２ページの受診者数の推移では、月毎の小児科、内科の受診者数の変化を見るという仮説があると思いますが、こういった場合、X軸に月、Y軸に小児科・内科の積み上げグラフを作成していただくと、より視覚的に見やすい資料になるのかなと思います。また令和６年度、令和７年度一緒にのせても年度の変化が見られますので、もし次回以降の会議では、統計資料にグラフを作成していただきますと更に分かりやすい資料ができるのではないかと思います。それぞれのグラフの作り方とか、見やすさとかお悩みになられるようでしたら、ご相談いただければアドバイスさせていただきます。

○委員長

貴重なご意見ありがとうございました。確かに視覚的に少し分かりづらいところはあるのかなと思います。グラフ化すると視覚的には分かりやすいというのは確かにあると思います。

そうしましたらよろしいでしょうか。それではこれで議事の方は終了いたします。委員の皆様、議事進行にご協力いただきありがとうございました。それでは事務局へお返しします。

○事務局

委員長、委員の皆様ご貴重なご意見ありがとうございました。

以上を持ちまして、令和８年度第１回湖南広域休日急病診療所運営委員会を終了させていただきます。